



学校だより

河内校



令和6年11月15日

第9号 文責 林田

「笑顔・元気・やる気」あふれる学校
主体的に考え行動する河内っ子の育成

少し前まで日中は暑かったのですが、急に寒くなってきました。河内の山々は少しずつみかんが色づいて黄色の水玉模様が見られるようになってきました。秋が短くなっている気がしますが、河内小では芸術に読書にスポーツに…実りの秋が続きます。遠くから通っている子ども達が毎日のように歩いて登校する姿を見かけるようになりました。気候が良くなりましたので、子ども達の身体と精神力向上のため、ぜひ歩いて登校させていただければと思います。



11月は心かがやけ月間。取組を継続中です！

さて、11月は心かがやけ月間です。熊本市内の学校で保護者・地域との連携を図りながら道徳教育の充実を図り、子どもの豊かな心を育むものです。「親子道徳」等、保護者と連携して道徳教育の推進を図っていきます。また、地域と連携した体験活動やボランティア活動等も行っています。

全学級であいさつ運動に取り組んでいます。この日は1年1組の日。元気いっぱいのかわいいあいさつに、車で通る方もおもわずにっこり…会釈されていました。

「150周年記念音楽発表会」楽しみました

河内小では11月8日(金)に音楽発表会を行いました。10月ごろから毎日のように練習する音が聞こえてきて、担任と子ども達が熱心に練習に取り組んでいる様子が日々伝わってきていました。

当日、子ども達はいつもよりかなり緊張していた様子でしたが、少人数ながら歌声が体育館いっぱいに広がりました。子ども達が音楽にのって体を揺らしながら全身で一生懸命に表現する姿は、見る人の心を動かすものでした。発表を終えた後の子ども達の表情は、達成感に満ち溢れていて「楽しかった！」との感想が多く聞かれました。感想交流では、「どの学年もがんばっていてすごいと思いました。」「たくさん練習したんだと思いました。」など、お互いのよさも共有できました。また、音楽発表会を見に来られた地域の方が帰られるときに、「感動して泣いてしまいました。」「また来年も来たいです。」と目を潤ませて話されていたのが印象的でした。実施後の保護者アンケートも心温まるご意見が多く寄せられています。ありがとうございます。次号で紹介したいと思いますので、まだの方がおられましたら、回答のご協力よろしくお願いします。



家族 de 読書のご協力ありがとうございました

家族 de 読書の取組は、たいへんお世話になりました。家族 de 読書のカードは、全て読ませていただきました。ご協力ありがとうございます。感想欄にはほほえましい親子の触れ合いが感じられました。意外と“子どもが大人に読み聞かせる”読み方も多かったです。また、「充実した時間を過ごせた」という感想がたくさん寄せられました。感想を一部紹介します。

- ・読むのが一番好きになりました。ほんとはもっとしたかったです。(1年児童)
- ・「ぼくがラーメンを食べてるとき」という本を読んだ後、感想を聞くと、私と全く違う感想が返ってきました。でも、とらえ方は自由であっていいと思いましたし、それが本のおもしろいところだと思いました。(2年生保護者)
- ・習い事・宿題で寝る時間が妹たちより少し遅いですが、今週はテキパキ行動し、妹にたくさん読み聞かせてくれました。(5年生保護者)
- ・ゲームにあてていた時間を家族と本を読む時間にあてることで、家族と楽しく読書ができました。(6年児童)

読書をして心の栄養をたくさん蓄え、子ども達が心豊かに成長することを願っています。

海の生き物調べ

まちづくりセンターのご協力で10月18日(金)に河内海岸にて河内小と芳野小の5年生が海辺の生物調べを体験させていただきました。海辺に降り、石を動かしてみると貝や何やら動くものがあります。子ども達は講師の先生を「博士」と呼んで、見つけた生物について色々尋ね、教えてもらっていました。暑い日でしたが、子ども達は歓声をあげて生き物を探していました。また、水質の浄化のために1学期に4年生が作ったEM団子を海に投入しました。貴重な体験を水質保全や自然環境の保護、郷土を愛する心の醸成につながれば・と願います。



修学旅行に行ってきました

10月24日・25日(金)に、6年生の修学旅行を実施しました。1日目は原爆資料館の見学とフィールドワーク、“被爆体験を語る会”の森内さんの話を聞きました。森内さんは、戦争を経験してほしくないから…と戦争の悲惨さについて体験を話し、「平和を守るために平和を発信してほしい…」と平和のバトンを渡されました。平和公園では平和の誓いを全員が力強く行い、千羽鶴を納めました。2日目はお楽しみのハウステンボスです。班で話し合いながらそれぞれで行動しており、とても楽しんでいました。学習のまとめをじっくりと行っているところのようです。

子ども達は常に5分前には全員集合するなど、2日間を通して最高学年として立派な姿を見せてくれました。修学旅行で、熱心に話を聞いてメモする姿や、子どもらしさもありながら礼儀正しく振舞う河内っ子の姿に、ボランティアガイドさんやバスガイドさんなど、関わる方々から子ども達のことをたいへんほめていただきました。接すると本当に心地よい気持ちになる河内の子ども達が、今後新しい環境で様々な人と関わりながら新しい時代を生き抜いていけるよう、学校でさらに身につけるべき力を確認しながら全職員で全ての子ども達を育てていきたいと思っています。

